



# うさぎ新聞

## 院長より

うさぎ新聞 2013 年秋号を発行させていただくこととなりました。暑い夏も終わり、台風もすぎさり、過ごしやすい季節となりました。ご家族でお出かけをしたり、運動会があったり、いつも以上に  
おこさまのがんばる姿を見る機会が多いかと思います。保護者の皆様方には成長を感じられる季節かと  
存じます。

当院では、8月から小児科診療室、処置室拡充のため、増改築工事を行っております。来院される患者  
さまにはご迷惑おかけいたしますが、10月いっぱい終了予定です。新しく、広くなった処置室では、  
ぜんそく（ぜいぜいし、息苦しい）発作やクループ（犬が吠えたような咳が出る息が苦しくなる  
病気）のおこさまに吸入療法（くすりの入った煙を吸う）を行ったり、鼻づまりのおこさまに  
鼻吸いを行ったりいたします。今後とも当クリニックをよろしく願いたします。

医療法人社団みやびの会 理事長 小林雅史

## 診療時間のご案内

### ☆一般外来☆

月～金

9:00～12:00

(受付 8:45～12:00)

16:00～19:00

(受付 15:45～18:45)

土曜日

9:00～12:00

(受付 8:45～12:00)

14:00～17:00

(受付 14:00～16:45)

日曜日

9:00～12:00

(受付 8:45～12:00)

### ☆乳児健診専門外来☆

月・水

15:00～16:00 (受付は14:30～)

### ☆予防接種専門外来☆

火、木、金

15:00～16:00 (受付は14:30～)

土曜日

12:30～13:00 (受付は12:15～)

必要な時にいつでも受診できますよう平日は19時まで、  
日曜日も診療いたします。

(ただし祝日、年末年始を除きます。)

# 富加津先生より



日々の診療で感じるのですが、クリニックを受診する子供たちの多くは感染症です。感染した場所から病名をつければ、咽頭炎・気管支炎・肺炎・胃腸炎・膀胱炎・鼻炎・中耳炎・結膜炎・皮膚炎など全身に及びますから当然かもしれません。

原因となる病原体も様々です。一番多いのはウイルスで、その次が細菌でしょうか。これらの目に見えないとても小さな生物（ウイルスはある理由から生物ではないと言われているようですが）に人は苦しめられているのですね。

自然の摂理を考えると『生と死』が大前提にあり、それを繰り返し『存続』していきます。生物はもちろんのこと夜空の星さえも、生まれては消え、再び生まれて存続していくのです。

『生きたい』すなわち『死にたくない』

すべての生物がそう感じながら生まれては消えていきます。

病原体も生きようと必死です。人が苦しめられるのも当然なのでしょう。お互いの存続をかけた戦いはこれからもずっと続いていくことでしょう。

ところで先ほどウイルスは生物ではないと話しました。その理由をご存知ですか？

人も動物も昆虫も植物も細胞が集まって出来ています。子孫を残すため受精の際にはオスとメスそれぞれの細胞1つずつが合わさります。すなわち最初は1つの細胞です。

オスとメスの区別がなく、一生1つの細胞のままの生物がいくつかあります。それらの1つが細菌です。分裂して子孫を増やします。

ではウイルスはどうでしょう。じつは驚いたことに細胞を持ちません。遺伝子のみを複製し続けているのです。生物は細胞から出来ているという定義があるため、ウイルスは生物ではないと言うことです。ただし、複製して子孫を残す性質はまさに生物。ウイルスも生物であると主張する学説も出てきたようで、将来的には仲間入り出来そうです。（人が勝手に考えているだけですから、ウイルスにしてみればどうでもいいでしょうけど…）

興味のある方はインターネットで検索していただければ、わかりやすく説明されています。昔は図書館などで調べなければわからなかったのに、良い時代になりました。



❁ 富加津医師は当院小児科常勤医として木曜日を除く、月～土まで診療しております。よろしくお願いたします。



## + ナースからのお母さんに伝えたいホームケア +

今回は**お薬の飲ませ方**についてお話しします。

**乳児**：水ぐすりは、そのままスポイトかスプーンで与えます。

粉ぐすりは、ひとくちで飲める量の湯ざましで溶かし、水ぐすりのようにして与えるか、少量の湯ざましで団子状にして上あごにこすりつけ、その後湯ざましやミルクなどを与えます。

**幼児**：水ぐすりも粉ぐすりも他のものに溶かさなで、そのまま与える習慣をつけましょう。

薬を嫌がる時には、本人が納得すれば何かに混ぜても良いでしょう。

1日2回の薬は、朝と夜、約12時間ごとに

1日3回の薬は、食事にとらわれず「起きている間に等間隔に3回」を目安にしましょう。

1日4回の薬は、3回プラス夜寝る前 です。

食後はお腹がいっぱいで飲めなかったり、食べ物と一緒に吐いたりする事があります。

子どもの薬は胃が荒れる事はないので、主治医からの特別な指示がない限り、時間で飲ませて下さい。赤ちゃんは授乳の前に薬を飲ませる方が良いでしょう。

特に指示がない場合は、薬は処方された分は最後まで飲み切って下さい。

やめていいかどうかは、処方された医師に確認して下さい。

解熱剤以外の余った薬は処分しましょう。

坐薬は冷蔵庫に保管して下さい。

坐薬を入れてすぐに便と一緒に出てしまったらもう一度同じ坐薬をいれてもかまいません。

30分以上経っていれば、ほとんど吸収されているので、追加しなくても良いでしょう。

### ❖ 解熱剤について

熱が高いと、脳がやられると思われがちですが、40℃くらいの熱が出てもやられません。

解熱剤は熱による辛さを軽くしてあげるための薬で、病気を治す薬ではありませんが、

38.5度以上でつらそうな時は使ってあげて、下がって少し体が楽になった時に食事や水分をあげましょう。



## 事務より

9月15日からインフルエンザワクチン予約をWebで開始いたしました。お電話でも予約が可能です。接種は10月15日からです。平日は10時から12時、午後5時から7時、土曜は午後3時から4時、日曜は12時に行います。13歳未満の方は2回接種、13才以上は1回のみです。2回目は2-4週後をお願いいたします。料金は1回**3500円(税込)**です。当院では1歳以上のお子様からを対象とさせていただいております。感染予防のため、ぜひご家族でお受けください。

よろしくお願いたします。

なお、大人の方のみの接種はワクチン在庫のある限りにおきましてご予約の必要はございません。



ホームページは <http://kobayashi-naika-shounika-clinic.com>



当日の診察順番予約は [アイチケット http://paa.jp/t/2130/](http://paa.jp/t/2130/)



予防接種予約は <http://www.0425182088.com/i/>

〒197-0802 あきる野市草花 1439-9

TEL 042-518-2088

医療法人社団 みやびの会 こばやし内科小児科クリニック

